

1 これまでの経緯

平成28年5月に県・市・有識者・地域団体・民間事業者等により立ち上げた「六甲山土地利用プロジェクトチーム」では、六甲山上の保養所等の利活用モデル事業の推進など、六甲山の活性化に向けて一定の成果を得たところである。

一方、国においても、六甲山トレイルプラン、眺望再生プランの検討が進められ、今後、公園計画・管理運営計画の改定も予定されている。これまでの成果も踏まえ、国、県、市等が一体となって地元や民間事業者等とも連携しながら、さらなる六甲山の活性化に向けた取組を検討するため、新たに「六甲山再生委員会」を設置する。

2 六甲山再生委員会の設置目的

六甲山・摩耶山（以下、「六甲山」という。）の魅力ある自然を活用し、自然保護との最適なバランスを保ちながら活性化を図ることを目的として、六甲山の目指すべき方向性及び民間資本の誘導による六甲山の活性化を図るための協議を行うために設置する。

<協議概要>

- (1) 六甲山全体の目指すべき方向性に関すること
- (2) 上記(1)を実現するための方策に関すること
- (3) その他、六甲山の活性化を図るために必要な事項に関すること

3 スケジュール（予定）

平成30年3月	・六甲山再生委員会設立 国立公園計画点検の説明、課題の整理、平成30年度事業内容説明等
↳	・部会にて実務レベルでの打ち合わせ（必要回数開催）
平成30年秋	・第2回六甲山再生委員会 課題に対する検討内容説明、社会実験及びマーケティング調査の中間報告、国立公園計画点検等
↳	・部会にて実務レベルでの打ち合わせ（必要回数開催）
平成31年3月	・第3回六甲山再生委員会 目指すべき方向性、実現するための方策を共有